

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年2月16日(2023.2.16)

【公開番号】特開2021-86618(P2021-86618A)

【公開日】令和3年6月3日(2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2021-025

【出願番号】特願2020-179082(P2020-179082)

【国際特許分類】

G 06 T 13/80 (2011.01)

10

【F I】

G 06 T 13/80 B

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月8日(2023.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人が動作する映像モデルを複数種類記憶する映像モデルデータベースと、
前記映像モデルデータベース内のデータから、仮想人物の生成に使用する使用映像モデルを選択する映像モデル選択部と、
前記仮想人物の顔データを前記使用映像モデルに統合する顔挿入部と、
前記仮想人物の声を生成する音声処理部と、

前記顔データが統合された前記使用映像モデルと、生成された前記仮想人物の声と、に基づいて、前記仮想人物が発話する映像を生成する映像表示処理部と、

人物の性格モデルを複数記憶する性格モデルデータベースと、
前記仮想人物の生成に使用する使用性格モデルを、前記性格モデルデータベース内のデータから選択する性格モデル選択部と、

前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージを生成する対話処理部と、

を備え、

前記対話処理部は、前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージに表れる喜怒哀楽を決定し、当該喜怒哀楽を含んだ前記メッセージを生成する、
仮想人物対話システム。

30

【請求項2】

前記性格モデル選択部は、前記仮想人物の生成対象となる人物が作成した記録に基づいて、
前記使用性格モデルを前記性格モデルデータベース内のデータから選択する、
請求項1記載の仮想人物対話システム。

40

【請求項3】

前記性格モデル選択部は、ユーザが質問に答えていくことで、あらかじめ用意された性格の基本分類に基づいて、前記仮想人物の基本的な性格付けが行われ、前記仮想人物の生成に使用する使用性格モデルを前記性格モデルデータベースに含まれる性格のいずれかに分類する、

請求項1又は2記載の仮想人物対話システム。

50

【請求項 4】

前記仮想人物への質問が入力される入力部と、前記仮想人物の返答を出力する出力部と、をさらに備え、

前記対話処理部は、前記質問に対する返答を生成し、前記出力部から前記返答を出力させる、

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の仮想人物対話システム。

【請求項 5】

前記メッセージを受信可能な複数の端末から送信される前記メッセージに対する評価に基づいて、前記使用性格モデルを補正する性格モデル補正部をさらに備える、

請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の仮想人物対話システム。

10

【請求項 6】

人が動作する映像モデルを複数種類記憶する映像モデルデータベースと、人物の性格モデルを複数記憶する性格モデルデータベースと、を備える仮想人物対話システムにより、仮想人物の映像を生成する方法であって、

前記映像モデルデータベース内のデータから、前記仮想人物の生成に使用する使用映像モデルを選択する映像モデル選択ステップと、

前記仮想人物の顔データを前記使用映像モデルに統合する顔挿入ステップと、

前記仮想人物の声を生成する音声処理ステップと、

前記顔データが統合された前記使用映像モデルと、生成された前記仮想人物の声と、に基づいて、前記仮想人物が発話する映像を生成する映像表示処理ステップと、

前記仮想人物の生成に使用する使用性格モデルを、前記性格モデルデータベース内のデータから選択する性格モデル選択ステップと、

前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージを生成する対話処理ステップと、

を含み、

前記対話処理ステップでは、前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージに表れる喜怒哀楽を決定し、当該喜怒哀楽を含んだ前記メッセージを生成する

映像生成方法。

【請求項 7】

人が動作する映像モデルを複数種類記憶する映像モデルデータベースと、人物の性格モデルを複数記憶する性格モデルデータベースと、を備える仮想人物対話システムにより、仮想人物の映像を生成するコンピュータプログラムであって、

前記映像モデルデータベース内のデータから、前記仮想人物の生成に使用する使用映像モデルを選択する映像モデル選択命令と、

前記仮想人物の顔データを前記使用映像モデルに統合する顔挿入命令と、

前記仮想人物の声を生成する音声処理命令と、

前記顔データが統合された前記使用映像モデルと、生成された前記仮想人物の声と、に基づいて、前記仮想人物が発話する映像を生成する映像表示処理命令と、

前記仮想人物の生成に使用する使用性格モデルを、前記性格モデルデータベース内のデータから選択する性格モデル選択命令と、

前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージを生成する対話処理命令と、

をコンピュータに実行させ、

前記対話処理命令では、前記使用性格モデルに基づいて、前記仮想人物が発話するメッセージに表れる喜怒哀楽を決定し、当該喜怒哀楽を含んだ前記メッセージを生成する、映像生成プログラム。

20

30

40

50